研究テーマ:ビジネス利用に向けた高品位映像伝送の研究(1/2)

(プロジェクト番号 JGN2-A16045)

研究機関:(株)電通国際情報サービス、(株)電通関西支社、KDDI(株)、
(株)クロスメディア・インフォメーション・センター、(株)アクタスソフトウェア

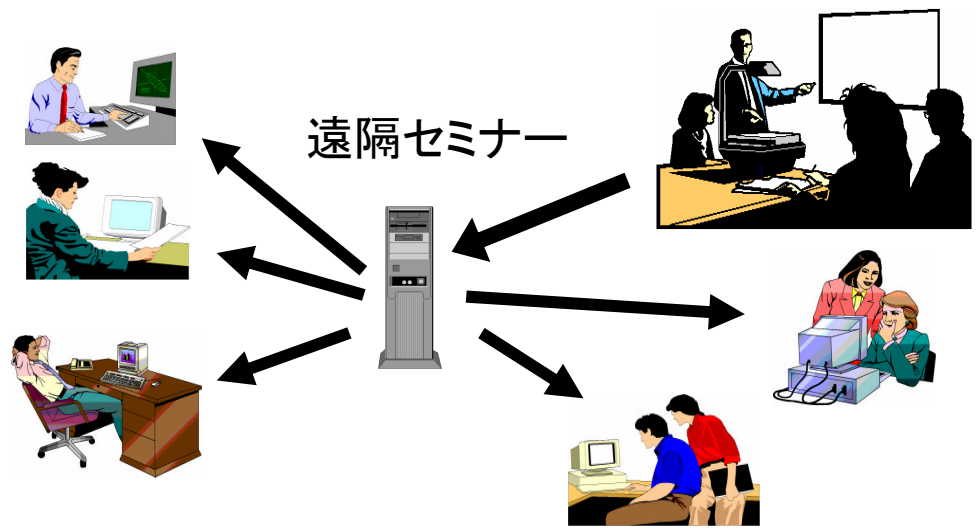
研究の概要:

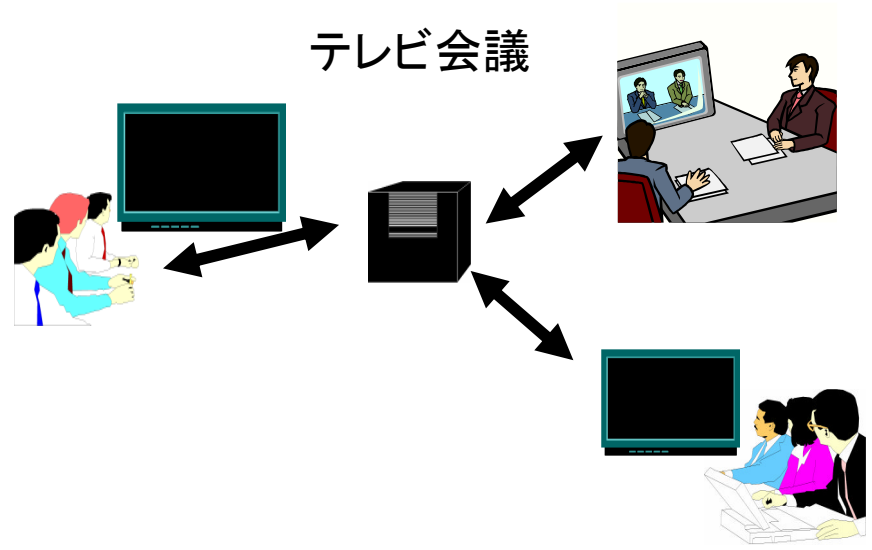
ビジネス分野における高品位映像伝送の活用を試み、その成果を踏まえて映像アプリケーション利用の研究を行う

研究の目的:

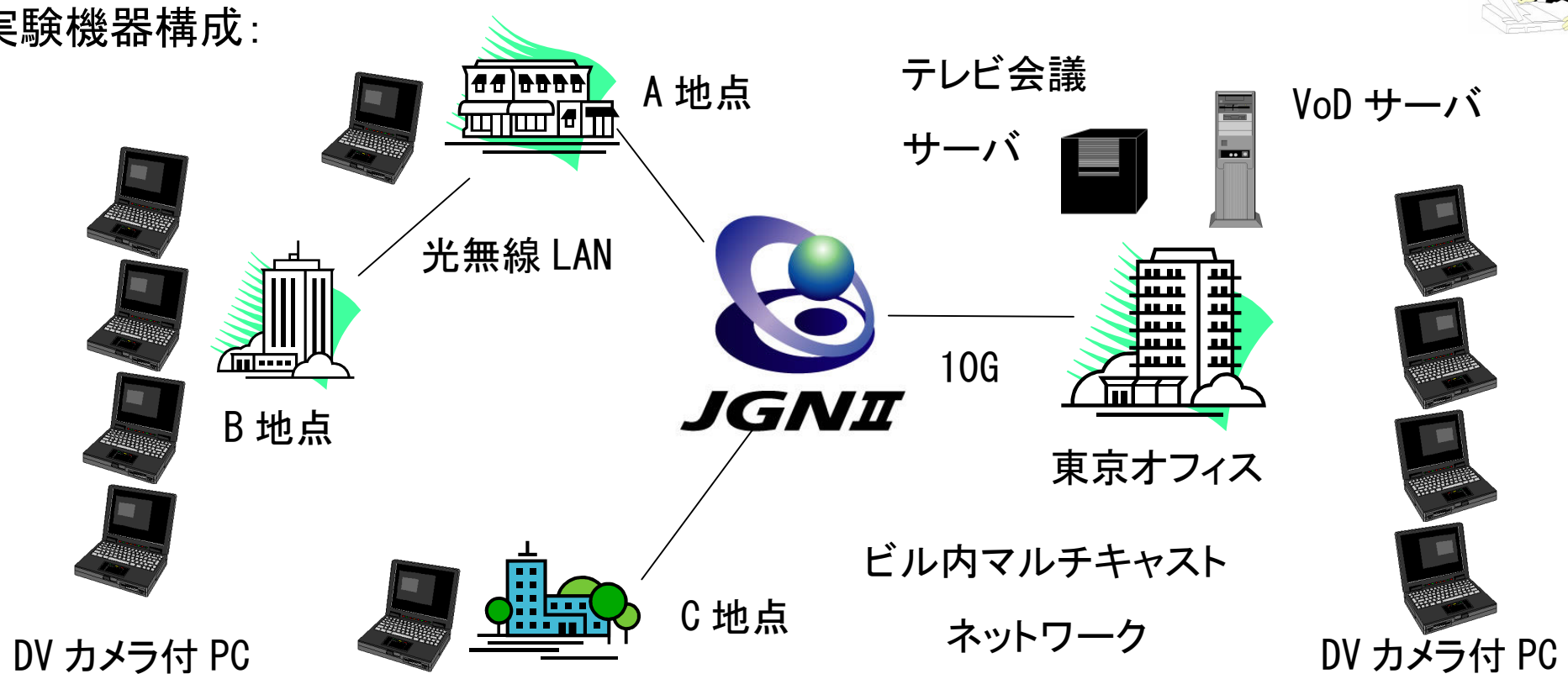
広帯域映像伝送が企業にメリットをもたらすような利用方法を開発する

- 大量端末による広帯域映像配信利用時の企業内ネットワークへの影響
- 多地点間の映像伝送によるコミュニケーション
- 広帯域映像の蓄積と配信実験
- 広帯域映像の暗号化伝送に関する研究
- 伝送遅延によるインタラクティブ・コミュニケーションへの影響の研究
- ハイビジョン映像伝送の研究





実験機器構成:



研究テーマ:ビジネス利用に向けた高品位映像伝送の研究(2/2)

(プロジェクト番号 JGN2-A16045)

研究機関:(株)電通国際情報サービス、(株)電通関西支社、KDDI(株)、
(株)クロスメディア・インフォメーション・センター、(株)アクタスソフトウェア

研究開発成果:

- DV 映像の高品位に着目し、ビジネスシーンでの利用拡大を念頭に研究開発
- 低遅延テレビ会議、ビデオオンデマンド、マルチキャスト放送などで実証実験
- 暗号化機能を付加するなど、現場の要望に応える形で各種実装と実証実験
- テレビ会議の運用に関するノウハウをまとめた資料の作成
- 研究のノウハウを活かして、10G 社内ネットワークを構築
- 低遅延ハイビジョン映像伝送の研究に着手

プロジェクトのアピールポイント:

- DV 映像をデジタルのまま合成するという技術をベースに研究を実施
- 実際の利用時の利便性を追及するためのノウハウ蓄積
- 実利用で得たノウハウを他のユーザにフィードバック
- 高品位テレビ会議の実用性を高めることができた
- 帯域よりも高品位を優先させることでテレビ会議の可能性を広げることができた

プロジェクトの自己評価:

- 複数のテーマを掲げて、それぞれに関して一定の成果
- アプリケーションが絡むと技術以外の問題も発生する
- ネットワークの重要性を再認識
- 企業では十分な帯域を持つ回線を確保しにくいのも事実
- まもなく広帯域を活用できる時代が来るだろうと期待
- 引き続きチャレンジすべきことがたくさんある